

目 次

| | |
|---|-------|
| はしがき | v |
| 多文化共生社会を目指した Larry E. Smith 氏の EIL 論 (日野信行) | xi |
| 本書で用いる略号一覧 | xviii |

第 I 部

ESOL 教員養成担当者プログラムと日本の英語教育への応用

| | |
|-------------------------------------|----|
| 第 1 章 ラリー E. スミス氏担当： | |
| ESOL 教員養成担当者プログラムに参加して | 3 |
| 1.1. ESOL 教員養成担当者プログラムの内容紹介 | 4 |
| 1.2. ESOL 教員養成担当者プログラムから学んだこと | 10 |
| 1.3. まとめ | 16 |
| 第 2 章 日本の英語教育への応用 (1) | 19 |
| 2.1. 英語科学生の英文法知識の活性化を目指して | 20 |
| 2.2. 受身英語から能動英語への転換装置として | 23 |
| 2.3. 長崎大学英語科 2 年生のための英会話の指導実践 | 25 |
| 2.4. 「学習者中心」の授業の長所 | 28 |
| 2.5. 学習者からの評価 | 29 |
| 2.6. まとめ | 31 |
| 2.7. 「英語演習」に参加した卒業生からのコメント | 32 |

| | |
|------------------------------------|----|
| 第3章 日本の英語教育への応用 (2) | 35 |
| 3.1. 日本人学生によるリスニング教材作成へ向けて | 35 |
| 3.2. 音読練習の方法 | 37 |
| 3.3. 学生たちのリスニング教材作成 | 38 |
| 3.4. 「英語教育演習」に参加した卒業生からのコメント | 39 |
| 3.5. まとめ：「日本人の英語」の実現に向けて | 41 |

第II部

EIL (国際語としての英語) / WE (世界諸英語)

| | |
|---|----|
| 第4章 EIL (国際語としての英語) / WE (世界諸英語) | 47 |
| 4.1. EIAL (国際補助語としての英語) | 47 |
| 4.2. EIL (国際語としての英語) | 49 |
| 4.3. WE (世界諸英語) | 53 |
| 4.4. IAWE (世界諸英語のための国際学会) | 57 |
| 4.5. EIL (国際語としての英語) / WE (世界諸英語) —日本の英語教育へ意味するもの— | 59 |
| 第5章 EIL (国際語としての英語) / WE (世界諸英語) : スミス氏からの提言 | 63 |
| 5.1. 「国や文化の数だけ英語は存在する」とは | 64 |
| 5.2. 長崎大学でのスミス氏の講演要旨 | 67 |
| 5.3. ハワイでのスミス氏担当のGCEPに参加した学生たちの コメント | 71 |
| 5.4. 「国際英語」：その一つとしての「日本人の英語」 —日野信行氏の特別講演より— | 74 |
| 5.4.1. 日野氏の「国際英語」の概念 | 75 |
| 5.4.2. 「国際英語」の概念と母語話者依存の弊害について | 76 |

| | |
|-----------------|----|
| 5.4.3. 「日本人の英語」 | 78 |
| 5.4.4. まとめ | 80 |

第 III 部

EIL（国際語としての英語）/ WE（世界諸英語）の一つとしての

「日本人の英語」の実現をめざして

—長崎からの実践報告—

| | |
|---|-----|
| 第 6 章 社会人学習者のための多読指導 | |
| —放送大学長崎学習センターでの実践より— | 83 |
| 6.0. はじめに | 83 |
| 6.1. 社会人学習者のための多読指導：その理論的背景 | 87 |
| 6.1.1. 習得と学習の仮説（The Aquisition-Learning Hypothesis） | 88 |
| 6.1.2. インプット仮説（The Input Hypothesis） | 90 |
| 6.1.3. 多読アプローチの特徴（The characteristics of an extensive reading approach）：10 項目について | 92 |
| 6.1.4. 「コミュニケーション」と「スキル」 | 94 |
| 6.2. 社会人学習者の「主体的な」英語学習に向けて | |
| —放送大学長崎学習センターでの授業から— | 99 |
| 6.2.1. WE（世界諸英語） | 100 |
| 6.2.2. スキルの獲得と文法の内在化 | 100 |
| 6.2.3. 発話の力 | 101 |
| 6.2.4. リーディングの練習法：学習者の主体性を育てるために | 101 |
| 6.2.5. まとめ | 105 |
| 6.3. 社会人学習者のための「やさしい英語」による多読指導の実践—放送大学長崎学習センターでの 2 年間の実験的多読指導— | 106 |
| 6.3.1. 参加者 | 106 |

| | |
|--|-----|
| 6.3.2. 学習目標 | 106 |
| 6.3.3. 教材 | 107 |
| 6.3.4. クラス内の活動 | 107 |
| 6.4. 社会人学習者のための「やさしい英語」による多読指導の実 践成果—放送大学長崎学習センターでの2年間の実験的指導の 場合— | 109 |
| 6.4.1. 2年間の実践成果 | 109 |
| 6.4.2. 新しい自己評価法による実践成果 | 111 |
| 6.5. 実験的多読指導：参加者からの感想文 | 114 |
| 6.6. まとめ：放送大学長崎学習センターでの2年間の実験的多読 指導を終えて見えてきた成果 | 122 |
| | |
| 第7章 社会人学習者のための「やさしい英語」による多読・ 作文・会話を中心とした指導例 —長崎大学公開講座・小グループ学習の例から— | 127 |
| 7.1. 長崎大学公開講座の例 | 127 |
| 7.1.1. 参加者からの感想文 | 130 |
| 7.2. その他の小グループの例 | 132 |
| 7.2.1. 参加者からの感想文 | 134 |
| 7.3. 対馬教室の場合 | 135 |
| 7.4. まとめ：EIL（国際語としての英語）/WE（世界諸英語）の 一つとしての「日本人の英語」の実現へ向けて | 136 |
| | |
| あとがき：これからの日本の英語教育に向けて —英語教育の中に“言語習得”を取り入れよう！— | 139 |
| 付録1 | 145 |
| 付録2 | 149 |
| 参考文献 | 155 |

索 引 157

著者紹介 160